

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、河川・流域再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的として、2006 年 11 月に(財)リバーフロント整備センターが設立した団体です。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に、アジアの素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割も担います。

目 次

	Pages
➤ 事務局活動報告.....	1
➤ 会員寄稿記事.....	3
➤ 研究・事例の紹介.....	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	5
➤ 会議・イベント案内.....	6
➤ 冊子・ビデオ等の紹介.....	6
➤ 会員募集中.....	7

巻頭書記

本号では、ARRN の韓国窓口組織 KRRN の事務局を担う「韓国河川協会(KRA)」来日視察支援（北海道）の報告、及び JRRN より一部素材を提供させて頂き先日公開された台湾の河川再生に関わるホームページをご紹介します。また JRRN 会員からの

寄稿記事として、先月に引き続き「水辺からのメッセージ」を掲載させて頂きました。

今後とも、国内外の河川再生に関わる情報循環と人材交流を目指して参りますので、JRRN 会員皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

事務局活動報告

韓国河川協会来日視察(北海道)の支援報告

2009 年 6 月 10 日（水）～12 日（金）にかけて、韓国河川協会の海外視察団（53 名）が札幌市を中心に北海道の河川改修、治水事業、河川環境についての視察を目的に来日しました。韓国河川協会は「アジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）」の韓国側でのメンバー組織でもあり、事務局は全面的な協力として河川管理各機関とのスケジュール調整や説明資料の準備などの協力を行うとともに、恵庭市茂漁川、石狩川、豊平川、千歳川の視察などに同行いたしました。視察団の概要は以下のとおりです。

●視察団名：

韓国河川協会「2009 年海外研修視察」

●参加者：

韓国河川協会幹部及び会員（中央・地方自治体公務員、民間技術者、大学教員など）53 名

●視察場所：

①恵庭市茂漁川・漁川整備事業、②札幌市石狩川下流部整備事業、③札幌市豊平川、④千歳市千歳川

●国内受け入れ機関：

北海道開発局石狩川開発建設部札幌河川事務所、千歳河川事務所、財団法人石狩川振興財団、石狩地区地域防災施設（川の博物館）、千歳サケのふるさと館、札幌市豊平川さけ科学館、財団法人リバーフロント整備センター、日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）



写真 茂漁川での韓国河川協会訪日団



写真 千歳サケのふるさと館にて

今回の視察研修は、昨年6月に石川県金沢市などを中心に実施された研修に引き続き計画されたもので、現在、韓国で推進されている4大河川改修計画策定事業を背景に、日本の河川事業の実際について実務を担う技術者たちが中心となって研修を計画し

たものです。研修実施に当たっては「アジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）」が現地機関との仲介役として双方交流の窓口を務め、研修をサポートしてきました。

日本の先進的な治水計画、都市河川の治水、親水計画の視察を通じて、国内の技術や施策のPRを行うとともに、河川再生に関わる日韓の意見交換を行うことができ、河川環境再生分野での今後の更なる日韓交流の契機になればと思います。



写真 千歳川河川事務所での質疑応答

最後に、今回の研修を受け入れて頂きました視察先の関係者の方々には厚く御礼申し上げます。

（JRRN 事務局・ARRN 情報委員・財団法人リバーフロント整備センター 伊藤一正）

会員寄稿記事

水辺からのメッセージ No.2

国土文化研究所 主任研究員 岡村幸二（JRRN 会員）

荒川区の隅田川：水辺に近づきやすい緩傾斜堤に、カミソリ堤の履歴を残す



- ◆荒川区に接する隅田川は、昭和初期までは千住大橋から上流を“荒川”と呼んでいたそうで、“荒川区”の語源に納得させられます。
- ◆尾久橋の下流右岸では「尾久の原公園」の事業と合わせて、スーパー堤防が整備されています。台東区浅草から河口部までの賑やかな風景と違って、沿川の土地利用も工場や中低層住宅も多く残されています。
- ◆墨田川の高潮堤防のカミソリ堤防から緩傾斜堤に徐々に変わりつつある中で、かつての“垂直護岸”がモニュメントとして残されています。

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。（JRRN 事務局）

研究・事例の紹介

台湾の河川再生事例に関するホームページの紹介

台湾における河川再生の取り組みを詳しく紹介したホームページが2009年4月に開設されました。(言語：中国語及び一部英語)

台湾の著名な河川再生事業の概要や、台湾の河川概況が紹介されたホームページへのリンク等、写真と共に河川環境関連情報が豊富に掲載されています。



<http://trrn.wra.gov.tw/>

このホームページは、台湾政府経済部水利署の研究機関である「水利規劃試験所(WRAP)」が運営するサイトで、ホームページ開設目的は以下の通りです。(ホームページより意識)

『台湾国内でも河川再生事業が積極的に実施されるようになりました。そこで、本サイトは、過去に培われた河川再生の経験、技術などを体系的に整理するとともに、河川再生に関わる政府機関、その他関連サイトへの入口の役割を果たすことを目的に開設しました。今後は、台湾と海外、また公的機関や個人、NPO等の様々な情報を更に蓄積し、河川再生に関する情報交換の場となることを目指します。』

現在は中国語での情報整備が進められ、英語情報

は僅かですが、今後は中国語・英語ページ共に更に情報の充実化を図っていくとのことです。実務者のみならず、台湾国内及び海外の非専門家向けに写真や絵図も用いて平易に解説されている為、台湾の河川事情及び河川再生の現状を知る上でも貴重な情報源と言えるでしょう。

■ 河川再生事例紹介

- 台湾の河川再生事例 (21 事例)
- アジアの河川再生事例 (10 事例)
- 欧州の河川再生事例 (5 事例)
- アメリカの河川再生事例 (6 事例)
- アフリカの河川再生事例 (1 事例)

■ 湿地生態再生事例紹介

■ 関連情報

- 関連知識
- 関連技術指針・論文等
- 関連機関へのリンク
 - ◇ 研究機関・大学
 - ◇ 民間会社・公益団体
 - ◇ 政府機関

■ 意見交流

現在のホームページの構成

なお、本ホームページ内における、日本を含む海外の河川再生事例情報(約 20 事例)は、サイト運営者である「水利規劃試験所」より昨年冬頃に正式に依頼を受け、JRRN より情報提供させて頂きました。

ホームページ作成への協力等を通じ、JRRN 事務局では継続的に「台湾水利規劃試験所」交流を進めながら、日本と台湾の河川再生関連情報(技術・施策・地域活動等)の交換を行い、またその中で得た様々な成果を、JRRN 会員皆様に発信していきたいと思っています。

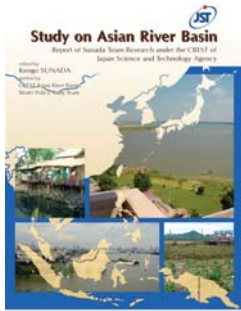
(JRRN 事務局 和田彰)

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ

【JRRN 個人会員・大町利勝様からの提供情報】

JRRN 会員であり、2008 年 7 月 18 日（金）開催「第 1 回 JRRN 河川環境ミニ講座」の講師を務められた大町利勝さんより、日本の水資源・河川管理手法を海外に普及する際に役立つ英文資料の情報を提供頂きました。一部資料の執筆・翻訳には大町様も関与されています。

●アジアの流域水管理 英語版 (Study on Asian River Basin)



- ・編著者： 砂田憲吾
- ・執筆者：CREST Asian River Basins
Water Policy Study Team
- ・発行年月： 2009 年 3 月
- ・入手方法：
下記よりダウンロード可能

<http://www.cec.yamanashi.ac.jp/~tetsu/AsianRiverBasin.pdf>

●河川砂防技術基準（計画編） 英語版 (Technical Criteria for River Works: Practical Guide for Planning)

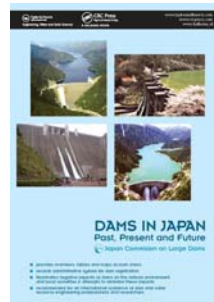
- ・発行年月： 2009 年 2 月
- ・入手方法： 下記よりダウンロード可能

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryounn/tnn0519pdf/ks0519.pdf>

●平成 9 年改訂 河川法 英語版 (The River Law with commentary by article)

- ・発行年月： 1998 年 9 月
- ・入手方法： 下記よりダウンロード可能
<http://www.idi.or.jp/library/pdf/RIVERE.PDF>

●Dams in Japan, Past, Present and Future

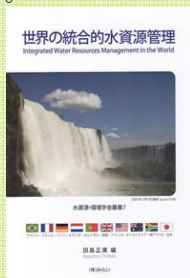


- ・編著者： 日本大ダム会議
- ・発行年月： 2009 年 4 月
- ・価格： US\$119.95
- ・ISBN： 978-0-415-49432-8

【JRRN 個人会員・田島正廣様からの提供情報】

JRRN 会員である田島正廣様が 2009 年 5 月に本を出版されました。

本書は、国際水資源学会およびブラジル水資源学会が共催したセミナー「統合的水資源管理」を基にブラジル水資源学会が取りまとめた「Water Resources Management — Brazilian and European Trends and Approaches(2000)」の和訳版です。水資源管理に携わる実務者向けの専門書です。



- ・編著者： 田島正廣
- ・出版社： みらい
- ・発行年月： 2009 年 5 月
- ・価格： 6,300 円（税込）
- ・ISBN： 978-4-86015-173-7

韓国河川再生ネットワーク(KRRN)提供情報

河川再生に関連する行事の案内が届いています。

■ 世界都市水フォーラム WCWF2009

- ・開催時期： 2009.8.18-21
- ・開催場所： 韓国・仁川市
→ <http://www.wcwf2009.org/>

■ 第 8 回生態水工学国際シンポジウム ISE2010

- ・開催時期： 2010.9.12-16
- ・開催場所： 韓国・ソウル市
→ <http://www.ISE-2010.org>

ヨーロッパ河川再生センター(ECRR)提供情報

欧州の河川再生関連の技術指針や書籍を紹介ページの案内が届きました。

- <http://www.ecrr.org/themresrr.htm>

会議・イベント案内 (2009 年 7 月以降)

(ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント)

■【JRRN 会員限定公開行事】「台湾からの実務者向けの河川環境講義 (JRRN 事務局による研修事業)」

- 日時： 2009 年 7 月 8 日 (水) 10:00-12:00 ※言語：日本語 (台湾語の逐次通訳あり)
- 会場： 財団法人リバーフロント整備センター 会議室 (※2009.6.1 に事務局が移転しました)
- 定員： 3 名 (JRRN 会員限定・申込み先着順)

※ 申込み方法等、詳細は JRRN ホームページをご覧ください。→ <http://www.a-rr.net/jp/>

(その他の河川再生・河川環境に関する主なイベント)

■東京新聞フォーラム 神田川再発見

- 日時：2009 年 7 月 6 日 (月) 18:00～21:00
- 会場：千代田区民ホール
- 主催：東京新聞事業局

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1298.html>

■第 134 回 河川文化を語る会「企業の社会貢献活動から見る水の文化景観～ミツカン水の文化センター 10 年の活動から～」

- 日時：2009 年 7 月 27 日 (月) 18:00～20:00
- 会場：厚生会館 (全国土木建築健保)
- 主催：(社) 日本河川協会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1258.html>

■東京の川を考えるシンポジウム 2009

- 日時：2009 年 7 月 29 日 (水) 13:30～16:30
- 会場：都庁都民ホール (都議会議事堂 1 階)
- 主催：東京都建設局

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1301.html>

■日本生態学会自然再生講習会「あなたにもできる自然再生：生態学の視点から」

- 日時：2009 年 8 月 1 日 (土) 13:30-17:00
- 会場：東京大学農学部 1 号館 8 番教室
- 主催：日本生態学会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1264.html>

■第 4 5 回水工学に関する夏期研修会～河川・水文コース「気候変動に対応する河川環境と河道管理のあり方」

- 日時：2009 年 8 月 5 日 (水) ～6 日 (木)
- 会場：日本大学工学部 70 号館 (郡山市)
- 主催：(社) 土木学会

<http://www.a-rr.net/jp/event/04/1310.html>

■水フォーラム 2009「東京湾と荒川、利根川、多摩川を結ぶ水フォーラム」

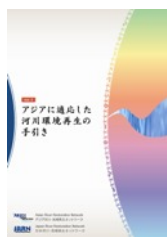
- 日時：2009 年 9 月 13 日 (日) 10:00～16:30
- 会場：大宮ソニックシティ
- 主催：水フォーラム 2009 実行委員会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/1295.html>

冊子・ビデオ等の紹介

■ アジアに適応した河川環境再生の手引き ver.1 (2009.3 発刊)

- ・発行：アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)
- ・価格：無料



ARRN が今後作成を目指す「アジアにおける河川再生技術指針」の入門編として、非専門家の方々にも河川再生の意義やアプローチを理解して頂くことを目的に、写真や図を主体に平易な解説文を添えて作成致したものです。

■ 水辺のミュージアム vol.2 (2009.1 発行)

- ・発行：(財)リバーフロント整備センター
- ・価格：無料



全国の「水辺」にかかわる資料館・博物館を紹介した冊子「水辺のミュージアム」の第二弾が発行されました。一見して捉えにくい水辺の魅力や展示方法をわかりやすく紹介しています。

本書をご希望される方は、「(財) リバーフロント整備センター企画グループ」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。 電話：03-6228-3860 / Fax：03-3523-0640

会員募集中

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、
所属団体や機関を問わず、河川環境の整備・改善に携
わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

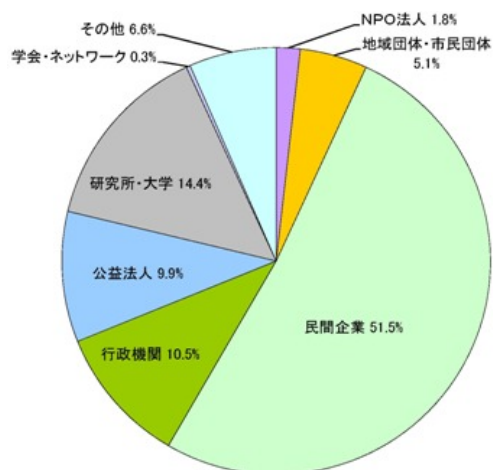
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」を
ご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した
「JRRN ニュースメール」が週に 1 回～2 回メール
配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が
入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参
加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集
の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベ
ント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河
川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支
援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>



2009 年 6 月 30 日時点の個人会員構成

（会員総数： 335 名）

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力※1	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載※2	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信※3	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信※3	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加※4	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援※5	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で 団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載※6	◎	△※7	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体 名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信※8	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援※9	◎	×	×

【発行・問合せ先】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

※2009 年 6 月 1 日より事務所が移転しました

財団法人リバーフロント整備センター 企画グループ 内

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 ロフテー中央ビル 7 階

Tel: 03-6228-3860 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>